

さくらまつり期間中の主な行事予定

内容	日時ほか	場所
開催式	9日(土)10時～	SL広場
民俗芸能公演	9日(土) はばたき太鼓／黒岩鬼剣舞	
	10日(日) 鳥喰太神楽／御免町鬼剣舞	
	16日(土) 小鳥崎さんさ踊り／口内鬼剣舞	
	23日(土) 行山流口内鹿踊／北藤根鬼剣舞	
	24日(日) 中野田植踊／二子鬼剣舞	
	29日(金) 下条和賀大乗神楽／谷地鬼剣舞	
	30日(土) 鬼柳鹿島太鼓／滑田鬼剣舞 各日11時～	
震災追悼慰霊復興祈願の舞	17日(日)15時～ 北上鬼剣舞連合会	
SL等公開説明会	まつり期間中9時～16時	
岩手うまいもの市	まつり期間中10時～17時	展勝地第1駐車場

【中止するイベント】
市民観桜会／夜桜ライトアップ／夜桜鬼剣舞公演／観光遊覧船／渡し舟／観光馬車／こいのぼり掲揚ほか



今年の開催期間は4月9日(土)～30日(土)です
北上展勝地さくらまつり

みちのく三大桜名所の北上展勝地さくらまつりは、例年より期間を早めて開催します。期間中、鬼剣舞公演などのイベントを実施。ご来場の際は、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力をお願いします。
■問い合わせ：北上展勝地さくらまつり実行委員会事務局／市商業観光課 ☎72-8241、北上観光コンベンション協会 ☎65-0300

飲食に関するお願い

- ・アルコールの持ち込み、宴会、火気の使用は禁止です。
- ・飲食スペース(桜並木南側入口付近)でのみ飲食が可能です。
- ・飲食の際も、会話をするときはマスクを着用してください。
- ・混雑状況によっては、飲食を制限する場合があります。



珊瑚橋の交通規制にご協力ください

期間中、バス・タクシーなどの公共交通車両を優先させるため、次の日程で交通規制を実施します。ご理解とご協力をお願いします。

■規制期間：4月16日(土)・17日(日)8時～17時

※観光バス、シャトルバス、タクシー、緊急車両、通行許可車両は通行できます。

※業務などの理由で通行許可証が必要な場合は、市商業観光課で配布します(土・日曜日、祝日を除く)ので、お申し出ください。

■交通規制区間：下図のとおり

シャトルバスの運行

交通規制実施に伴い、シャトルバスを運行します。会場へお越しの際はぜひご利用ください。

■運行日：4月16日(土)・19日(火)

■運行時間：9時～17時(30分間隔での運行)

■シャトルバス乗り場

①江釣子ショッピングセンター・パル西側駐車場

最終出発／16時30分

②北上駅東口

最終出発／16日(土)・17日(日)16時40分
18日(月)・19日(火)16時30分

③サタケ東北棟

最終出発／16時

※①と③は、16日(土)・17日(日)のみ運行します。

■料金：片道200円(未就学児は無料)



※最新の運行状況は、さくらまつりのホームページをご覧ください。実行委員会事務局へお問い合わせください。

展勝地駐車場協力金のご案内

桜の延命対策や渋滞対策など、さくらまつり事業に充てるため、展勝地駐車場を利用の際は、ご協力ください。

■協力金額(1日)：普通車500円／台、バス3千円／台



初回接種(1・2回目)、小児ワクチン、3回目接種を実施中

新型コロナワクチン接種

ワクチン接種時のお願い

ワクチン接種を円滑に進めるため、次の点にご協力ください。

● 予約時間の5分前を目途にお越しください。これより早く医療機関へ到着しても受け付けできません。

● 薬を服用している人はお薬手帳を持参してください。

● 肩を出しやすい服装でお越しください。


12歳以上の初回接種(1・2回目)を引き続き受け付けています

市が発行した新型コロナワクチン接種券があり1回目の接種日時点で12歳以上の人は、下記により予約の上、個別に医療機関で接種してください。

● 個別接種(1・2回目)を実施する医療機関

- ・ ちとせ医院(受け付け中)
- ・ とどり小児科医院(4月1日～)
- ・ 根本小児科医院(4月1日～)

■新型コロナワクチン接種の予約、予約変更方法

①インターネット予約サイト	
下記QRコードから予約や変更ができます。	市のホームページにインターネット予約マニュアルを掲載しています。
	
②コールセンター	
☎0120-107-935	
受付時間 8:30~17:30 (日曜、祝日休み)	

※5〜11歳の小児用ワクチン接種(2回分)、18歳以上の3回目接種の詳細は、接種券に同封しているお知らせまたは市のホームページでご確認ください。

■お問い合わせ：健康づくり課新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクト
チーム ☎72-8340

身体障がい者を支援します 補助犬希望者を募集

就労などの自立と社会参加を望み、補助犬を希望する人を募集します。審査後、候補者には所定の訓練を受けていただきます。

- 応募資格：身体障害者手帳の交付を受け、市内に居住する原則満18歳以上の視覚・聴覚障がい者、肢体不自由者
- 申し込み：3月31日(木)までに障がい福祉課へ(要事前相談)
- ※締切後でも相談を受け付けます。
- お問い合わせ：障がい福祉課 ☎72-8216

珈琲 ブレイク

No.120

北上市長

高橋敏彦



まちのミネラル?

私は山歩きが好きである。途中の水場で味わう水がこれまた格別にうまい。うまい水と言えば、それに含まれているミネラルのおかげであろうことは誰しも想像がつく。私たちはそんな水を、甘い、柔らかい、喉越しが良いなどと表現するが、実はミネラルの存在をあまり意識することはない。

先般、「あじさい都市」がどんな都市なのかご質問をいただいた。あじさい都市は、本市が目指す都市像「持続可能性都市」の比喩的表現である。東日本大震災の前年に私が代表を務めていたNPO法人が、16地区の地域づくり組織や国土交通省との共同研究によって発表したものだ。一時話題にあがった「消滅可能性都市」の対極にあると考えてよいが、持続可能性都市と言ってもどんな都市なのかイメージしにくいだろうと、このネーミングになった。

皆さんは、あじさい都市と聞いてどんなイメージを抱くだろうか。アジサイは種類や咲く場所によって色も形も多種多様である。「人それぞれ 地域もそれぞれ それぞれに咲く あじさいの花の如く」。初代市長の高橋盛吉氏が三市町村合併後の新市の未来を表した言葉だ。どの地域も取り残されず、生き生きと咲き誇ってほしいという思いが感じられる。

さて、そのあじさい都市は、実は昨年スタートした「北上市総合計画2021~2030」、特に10の「持続可能なまちづくりプロジェクト」に実装され、毎年度の予算編成に生かされている。だから特に意識しなくても持続可能性都市に向かっていると言える。私たちが水の中のミネラルを意識しないのと同じように、あじさい都市は「まちのミネラル」になったのだろう。

今月の初めに、専修大学北上高校の美術部が作成し生涯学習センターに掲げられた「きたかみマップ」には、本市を代表するサクラと並んでアジサイが描かれていた。生徒らがあじさい都市を意識してくれたことをうれしく思い、末長く北上市を愛してほしいと感じたところである。